

美術部の活動をのぞき見



17



どこか変態的で、固執できる狂気性があれば、作品に個性が浮かんでくる！

この大会で入賞すると全国派遣が待っている！
でも、これは2年生までのお話。最後の夏に本気になる美術部員へ独占インタビューをしました！



作品の額縁を作る生徒

パネルに描いたら完成！では、ありません！最後はパネルを飾るために額縁を自作して、はめ込む作業が必要です。この最後の仕上げが意外と大変。ここまでしてやっと、「自慢の作品」が完成します！

「大きい作品に取り組みさせて貰えるのは、美術部でも貴重なこと。準備万端で挑むべき」

高校の美術部は、日頃どんな活動をしているのでしょうか？「絵を描いているだけ？」

「実際は、放課後集まってお喋りしているだけじゃない？」ひよっとしたら、あまり美術に関心がない人にとってそんな考えな人もいるかも……。しかし、以外と美術はパワーがある体育会系なジャンルだって知っていましたか？その内容を高等学校総合文化祭「美術・工芸部門」（通称・高文祭）に挑戦する生徒へ焦点を当て、少しだけお伝えできたらと思います。

高文祭直前、美術部が活動する部屋は夜遅くまで明かりが付いていました。最後の仕上げをしている生徒へ、自分の作品について少しだけ質問をしたいと思います。

質問「どのくらい前から、この大きな作品に取り組みましたか？」

2年女部員「7月から、4ヶ月間くらいかけて制作しました。」「私は夏休み後半くらいからなので、2ヶ月半くらいです」

質問「この作品は油絵だと思いが、油絵に挑戦した理由や、アクリルや水彩とは違った楽しさを教えて下さい」

2年女部員「油絵は、他と比べて暖かみを感じる。色や質感、匂いとかからそう感じるのかも。」「1年の時に油絵に初挑戦をしたんですけど、その時は右も左も分からずに描いていた感覚がありました。去年の作品は、力が発揮できず悔しかったので、2年でも継続して油で出品する予定でした。去年の高文祭終わりから、油と友達になるため、ずっと放課後残って練習をしていました。」

質問「後輩や中学生などに向けて、大きい作品に挑戦するアドバイスを！」

2年男生徒「1ヶ月前に始めるとか遅すぎる！時間には余裕を持って。あと、自分の作品と長時間向き合える、飽き性じゃない？という継続する力、それが必要だと思います！あと体力！」

